

特集 ダイレクトセリングで働く3

ダイレクトセリングで いくつになっても輝く

ダイレクトセリングは対面販売を基本とする伝統的なビジネスであり、年齢や性別、国籍を超え、多くの人が活躍できるビジネスである。本シリーズではダイレクトセリングで働く人々にスポットを当て、参加した動機や働き方、さらに日常などを多角的に紹介する。第3回目は84歳の現役販売員である濱さんと勤続45年の市川さんにダイレクトセリングの魅力について語っていただいた。

高齢男性に 訪問販売の すばらしさを伝えたい

ハッピーファミリー 濱 整さん



間やはり健康産業の訪問販売員として働いていました。知人から紹介があり、仕事の内容を聞いて、これなら自分でもやれそうだと感じてご縁をいただきました。私が参加して、数年後に参加してきたのが今のハッピーファミリーの中村社長です。仕事ぶりや、行動力、人間力が抜群で、「いやあ、すごい人がいてはるもんやな」と強い印象を受けました。その中村社長が会社を辞めて独立すると聞き、同じ仕事をするならぜひこの人と一緒に、私の方から申し出て迎え入れてもらい、現在に至っています。

もともと、学校を卒業して最初に就職したのがヤクルトでした。ヤクルトは九州が発祥の地ですが、大阪に進出するとき、知人から声がかかり、私も大阪に移って新しい土地での基礎固めを手伝ったのです。扱う製品も、会社の規模も違いますが、人生これ訪問販売一本できたということになりますね。

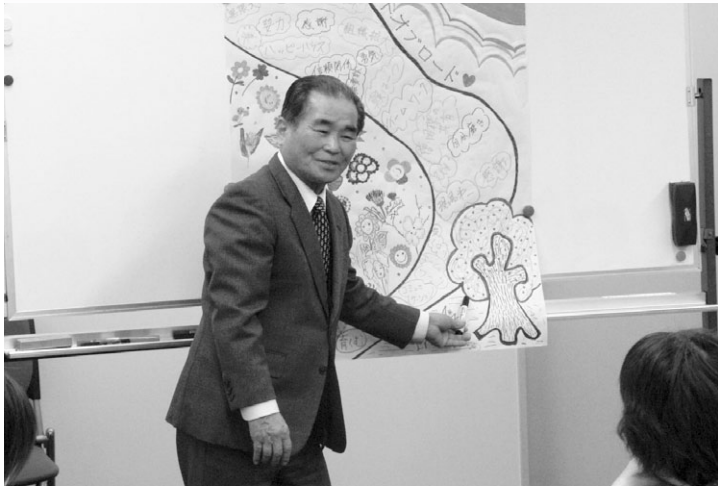
同じ訪問販売でも、ヤクルトとハッピーファミリーでは販売形態や就業形態が異なることから当然、活動も違ってきます。

人生、訪問販売一本

今年85歳になります。現役訪問販売員として、日々営業活動に余念なく

くすごしています。ハッピーファミリーの設立当初からのメンバーで、33年の営業経験を生かして、後輩の指導にもあたっています。

ハッピーファミリーの前に、5年



研修で発表する濱さん

いちばん大きな違いは、自由裁量の幅でしょう。企業の組織内では、上からの指示にしたがって仕事を進めることが肝要です。もっとあしたい、こうしたいと思っても制限されますので、なかなかすぐに思い通りにやれるものではありません。組織の道理ですから、当然です。

今は、時間も自由、頑張り方も自由、やり方も工夫次第で、私にはとても合っていると感じています。朝早く働いてもいいし、夜遅くまで働いてもいい。自分の意志で目標に向かっていくことができます。休みの

日を設定するのも自分の裁量ですし、何歳になったから仕事をやめなくてはならない、ということもありません。まだまだ、がんばりますよ。

伝える喜び

月末に親睦を兼ねて、仕事の仲間、電話などで一通り連絡をとりまします。リーダー10名ほどですね。そして、相手に合わせて、いつ、どこで会いましょう、とスケジュールを立てます。しばらく会っていないグループには、久しぶりに食事でもして楽しく語り合います。

とお誘いして予定を入れ、行動します。とにかく、毎日、誰かと会ってハッピーファミリーについて語りたという、そういうことです。

だいたいなことは、商品に惚れることです。健康産業ですから、自分自身で摂取して、自らの身体で商品の良さを実証して健康であることがだいじです。生き生きとして、やる気満々、そこからお客さんに伝わるものがあります。「どうしてそんなに元気なの?」「顔の色つやが違うわね」など

と言われると、つい私も商品を語るときに熱が入り、喜びを感じます。その伝える喜びが相手に伝わっているように思います。

今は家内とふたりで暮らしています。外出も多いので、留守中にかかってくる電話は家内が対応してくれています。子供2人に孫が計7人、ひ孫も3人になろうとしています。孫やひ孫の祝い事に、自分の収入からお祝いができるというのも嬉しいことです。孫たちも、元気なおじいちゃんを誇らしく思ってくれているようで、これも嬉しいことです。

もつとも、この年齢ですから、月に何日かは予定を入れない日もあります。そういう日は、好きな囲碁を楽します。

夢は5年後90歳現役

今年も、確定申告に行きました。85歳にもなろうという人が、前の年より多く税金を納めるというので、税理士さんに驚かれます。このご時世、中小企業も厳しいところが多いなかで、「その歳で税金を払う身分はうらやましい。数少ない人のひとりですよ」と言われました。来年は、もつと払おうと思っています。

世の中では、仕事がない、気力がない、生きる夢すらない、あるいは

身体を悪くして人生に夢がない状態で生きているという人もいますね。それを考えると、今の仕事をして、自分は幸せな生き方をしている、ありがたいことやなと、つくづく思います。

目も耳も不自由なものです。小さな文字も見えないし、皆さんが驚くくらい健康そのものですね。あと5年したら90歳です。90歳でもまだ澁刺として、現役で頑張っている、税金も払っている。世の中にはこんなすごい人がいるんだと言われるような、そういう生き方をしてみたいなあというのが夢です。

いっしょに仕事をしているメンバーのなかでも、まだまだ私のような高齢者は少ないです。定年退職して家でじっとしている男性のことを考えると、私たちがすると、もつたいないなあと思いますね。

長年十分働いたから、もういいとか、今さら新しいことなんて、と最初は皆さんおっしゃいます。確かにそう思うところもありますが、「健康になり、人のためにもなり、友だちも増えて、なにがしかの収入になって生き方が変わる」「家族からもだいじにされるよ」と声をかけるようにしています。こういう場にふれてもらおう人をひとりでも多く作りたと思うからです。自分自身がこう

いう働き方、生き方に大満足している
るので、ひとりで満足するのでなく
仲間を増やしたいと思っています。

老人が元気に働く場ができれば、
介護費用も医療費も国の負担が減る
し、その人たちが税金を払えば国
が潤うし、小さな力かもしれない
が世の中を明るくして社会のお役に
立ちたいのです。使命感を持ってお
ります。

5つの幸福

私は、この年齢にして満たされて
いる最高の喜びが5つあります。

まず、健康です。仕事を通じて医
者も驚く健康を得ています。

次に、物心ともに豊かであること。
ありがたいことに税金も納められる
収入がある。収入あつてこそ孫の祝
い事など与える喜びがあります。

それから、仲間。この年になると、
旧知の友はひとり減り、ふたり減り
して年賀状も少なくなり寂しいもの
だと言われますが、私は逆に仕事を
通していろいろな出会いに恵まれて
います。おかげで、仕事を別にして
会いましょうと言われる人も増え
て、年賀状の数は年々増えて、年末
はたいへんなんです。うれしいこと
です。

4つ目は、自己啓発。おしゃべり

が上手になった気がしています。少
人数での語りならともかく、大勢の
人を前に話をするのは得意ではな
かったのですが、セミナーなどでス
ピーチを経験するなかで、いろいろ自
分で工夫しながら、聞いている人を
笑わせたりすることができるよう
もなりました。楽しんで話を聞いて
くださっているのを見ると、少しは
上手になったかなと思います。学ぶ
ことの幸せですね。

そして社会に少しでも役に立つこ
とができる喜びです。健康の輪が広
がることもそうです。

電話でも笑顔で話すことを心がけ
ています。そうすれば相手も笑顔で
会話ができて、いい気持ちになり
ます。そんなふうにも自分も仕事を通
じて変わったかなと思います。

人間関係のビジネスですから、自
分以外はみな師です。そこから学ん
でいけることが、この仕事のいちば
んいいところだと思います。最初か
らうまくやれる人はいないと思いま
す。

手探りでも飛び込んでやってみ
る。周囲のお手本を見て学ぶ。お客
さんに褒めてもらって自信をつけて
一日一日を重ねる。そのことが長く
仕事を続けることにつながるのだと
思います。

お客さんに会えるのが 楽しくて45年

仕事就是我的健康法

(株)ダスキンサービス北海道
ダスキン豊里支店 市川絹子さん



きっかけは 友人のひと言だった

ダスキンの仕事を始めて45年にな
ります。お客さんのところにモップ
の替や、浄水器のカートリッジを屈
けに行く仕事です。45年という長
いようですが、あつという間でした。
こんなに長く続いているなんて、自
分でもびっくりしています。

学校を卒業して、最初はバスガイ
ドの仕事をしていました。ときには
千歳空港から札幌まで行くバスで車
掌が足りないとき、代わりに乗務し
たりもしました。飛行機に乗って来
る人は偉い人だと思っていたので、
すごく緊張しましたね。バスガイド
の仕事は2年くらいやったでしょう
か。楽しかったですよ。退職して、
結婚して、子どもが生まれ、家事や
育児で忙しい日々を過ごしました。
子どもが学校へ通うようになる

と、昼間、自分ひとり家にいること
になります。退屈だなあ、何か仕事
をしたいなと思いはじめました。

それから2年ほどのあいだに、生
命保険の仕事をはじめ、いろいろな
仕事をやってみたのですが、どれも
やめて、また家にいたときのこと
です。「ダスキンやったら？」と、友
だちから言われたのです。その友だ
ちの知人にダスキンの仕事をやって
いる人がいて、とても忙しそうだが
ら「あなた手伝ってあげてくれな
い？」と言うのです。

ちようどいいタイミングで舞い込
んだ話でしたし、おもしろそうだ
と思ったので、始めることにしました。
30代のころです。3人の子どものた
ちは小学生でした。

仕事に飽きることはないのです。コ
ツできるとは思っていましたが、
45年続いているということは、この
仕事に合っていたのだと思います。

仕事のある日もない日も、朝は7



お客さんを訪問して、モップを交換する市川さん

この仕事のいいところは、いろいろな人に会えることです。長いお客さんは、仕事を始めてすぐのところか

いろいろな人に会える喜び

休みの日は夏場は畑で、家族が食べる分くらいの野菜をちよこちよこ作っています。ちょうど季節がよくなってきたので、花も植えようかなと思っっているところです。

お客さんのところに届ける商品は、今は会社の人が私の家まで必要分を届けてくれるので楽になりました。

動けるうちは動きたい

お客さんのところに届けに行くときは、車でひとりで行きます。雪の時期は嫌ですね。でも細い道はないし、除雪もされているから冬タイヤで走れば大丈夫です。ただ、このごろは雪の時期でなくてもスピードを出すと怖いので、ゆっくりと運転しています。

仕事を続けるかどうかは、自分の気持ち次第です。ただ、仕事をしていることが健康法になっているとも思います。今日は、ここへ行くんだなど、お客さんのことを想い浮かべて出かけるのは、張り合いがあつていいです。仕事をしてきてよかったなと思うのはそんなときです。

時半には起きます。末っ子の息子夫婦と孫2人と一緒に暮らしているのですが、孫が学校に行き、息子夫婦も仕事に出かけたなら誰もいなくなるので、それからゆっくり朝食をとります。

お客さんのところに行く日は、9時少し前に家を出て、10軒から15軒くらいまわります。2時間かからずにまわりきるので、仕事は11時には一段落します。お昼は、おなががすいたら食べようか、という感じで家にとります。

配達には午前中だけです。午後はテ

レビを見たりお茶を飲んだりして、ゆっくりします。孫も高校生と大学生なので、何時に帰ってくるかわかりませんが、息子夫婦が仕事から帰ってきたら晩ごはんを食べて、お風呂に入って、夜11時には寝る、という毎日です。

今、私が届けに行っているお客さんの数は100人くらいです。大半は古くからのお客さんです。ピークのときは210人くらいでした。そのころは半日、車で走りっぱなしでした。今は、仕事をする曜日を決めているので、週に4日行くか行かないかです。金曜日が主で、土日、あと火曜日くらいです。

らのお付き合いですから、もう40年以上。4週間に1回、商品を届けに行ってお客さんに会っています。市内に住んでいる兄弟と会うより、もっと多い回数お客さんと会っている計算になりますね。

お客さんのところに行くのが好きで、この仕事をやっている気がしません。ダスキンの話をするのはあまりありません。難しい話もしませんが、新しい商品などを見せることはありますが、見せるだけです。これいいですよ、と強く薦めることもありません。ただ、「元気があった？」に始まって、日常の何でもない話をするだけなのですが、お客さんの方から話しかけてくれて、いろいろな話が聞けるのはとても楽しい時間です。

「年だからやめるかもよ」とお客さんに言うと、「おばさん、やめるんではないよ。ぼけてくるからねえ」と言われます。いつも届けに行くのを歓迎してくれる、自分の子どももくらの年代の人が言ってくれるのです。

家族は私が年をとったので心配して、「いいかげんにやめたら」と言っています。それを聞くと、心配してくれているんだな、ありがたいなと思います。でも、「やめたらボケてしまふよ」と私が言うと「それも困る」と言うので、動けるうちは動こうかなと思っています。

80代になりました。たしかに急にやめたら身体がおかしくなると思います。何かをして身体を動かしていないと動けなくなると思います。でも、あと2、3年やったら終わるかなと、去年くらいから思うようになってきました。具合が悪くなると迷惑をかけますから。